



よなご 市議会だより

2025.6.1
No.81

2025年(令和7年)
6月1日発行



表紙写真:いただき作り(後藤ヶ丘中学校PTAの皆さん)



一般質問 P4~P14
中学校でお話ししました P20

令和7年3月定例会の概要

会期 2月27日から3月21日までの23日間

市政一般に対する各個質問

3月3日、4日、6日及び7日の4日間

審議された議案等

議案45件及び陳情5件の合計50件

※審議結果については、15ページから18ページまでの一覧表のとおりです。

令和7年1月臨時会の概要

会期 1月22日

審議された議案

議案2件 ※審議結果については、17ページの一覧表のとおりです。

あなたの声を市政に!

3月定例会では、21人の議員が各個質問を行いました。



紙面の都合上、質問と答弁を要約しています。
詳細は市議会ホームページのインターネット録画配信、または、会議録をご覧ください。

※会議録は、議会事務局、各公民館、市立図書館で
ご覧になれます。



「一般質問」とは、議員が市の一般事務について、市長及び執行機関に対し質問を行うことです。

「一般質問」には以下の方法があります。

- 各個質問：議員が個々の立場で質問を行う
- 代表質問：3人以上の議員が所属する会派の代表が行う
- 関連質問：代表質問を行った議員と同じ会派の議員が関連した質問を行う

令和7年
3月定例会
ダイジェスト

策定されました

第2次

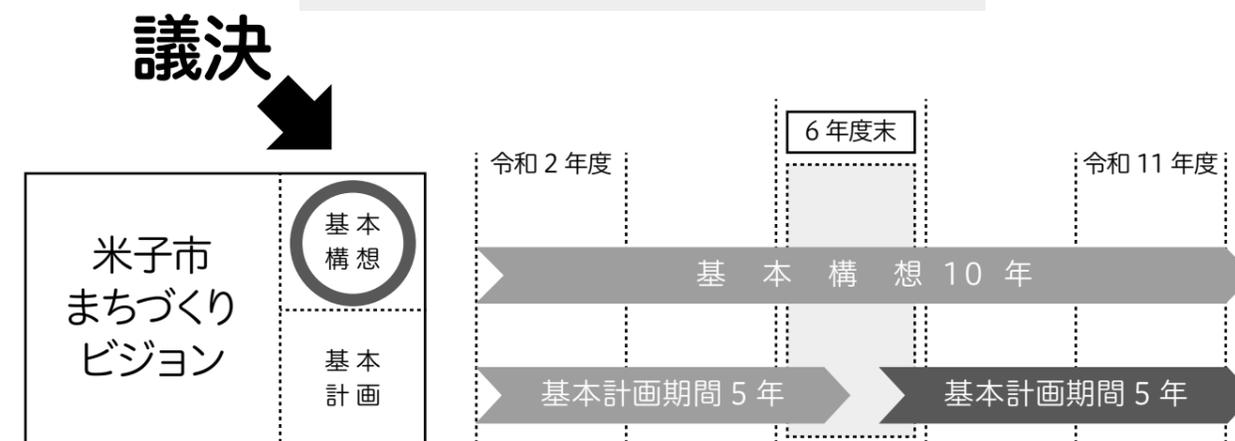
米子市まちづくりビジョン

第2次米子市
まちづくりビジョン
はこちらのリンクから
お読みいただけます

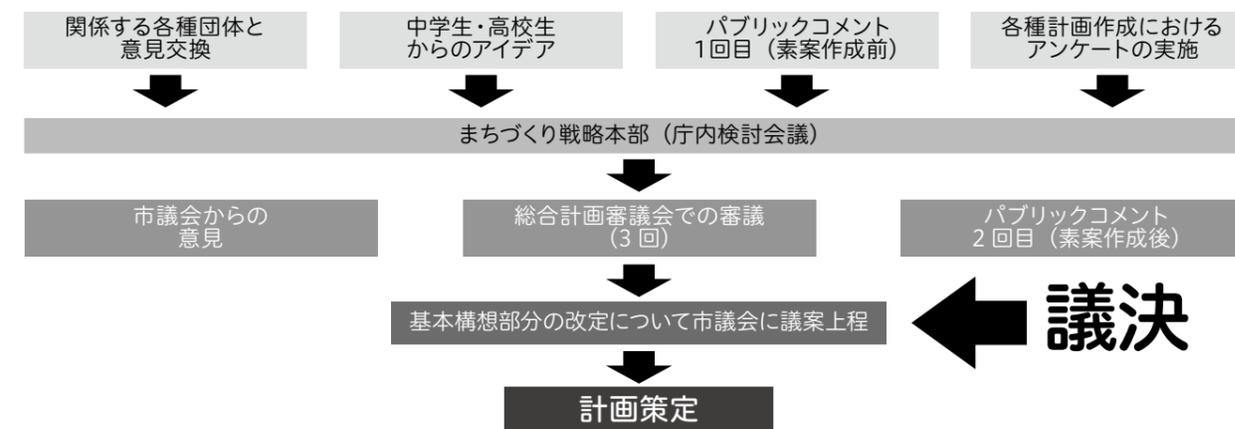


米子市総合計画は本市の最上位計画と位置づけられ、様々な分野における個別計画はこれに沿って策定されます。3月定例会では基本構想の変更について議決しました。これにより「第5次米子市総合計画及び第3期米子市地方創生総合戦略」（愛称『第2次米子市まちづくりビジョン』）が策定されました。

まちづくりビジョンの構成



策定までのプロセス





森谷 司 議員 (新ファミリア)



米子市と淀江町の合併について

議員 今年3月に合併20周年を迎えるが、その成果と課題について伺う。

市長 合併特例債などを活用しながら、道路、河川、学校等の社会インフラ整備と様々なソフト事業を推進してきた。今後は、コミュニティバスの充実やJR淀江駅の改修など公共交通の利便性を高めつつ、淀江エリアが有する歴史・文化資源を活用したにぎわい創出を図りたい。

議員 東大人文学部の上淀廃寺に関するシンポジウム及び研究について評価を伺う。

議員 JR淀江駅を軸とした

構想について伺う。
淀江支所長 JR淀江駅は、伯耆古代の丘公園、淀江ゆめ温泉、上淀白鳳の丘展示館、上淀廃寺跡などの近くにあり、淀江エリアの玄関口であるため、地域の関係者の声も伺いながら、再整備される駅の利活用も含め、淀江エリアのにぎわい創出を図っていききたい。

生活習慣病について

議員 2020年では11歳男児の約13%、女児の約9%が肥満度20%以上の肥満傾向児となっている。成人期に発症する生活習慣病を予防する上で、子どもたちの肥満に対する早期発見・早期治療は大切である。子どもたちの健康な食習慣の第一歩として、オーガニック給食の前に有機米給食からスタートしたらどうか。

教育委員会事務局長 安定的な調達が困難であり、価格が高額になるため、有機米を学校給食に導入する考えはない。

議員 有機米給食の実施により、医療費も削減でき、米子に移りたいという若い世代が増えていくことに期待したい。



岩崎 康朗 議員 (自由創政)



山陰・中国横断新幹線整備促進について

議員 中国横断新幹線整備推進会議研修会が本市で行われたが、研修を受けての所見を伺う。

市長 国として新幹線整備を進めていくという考えを確認することができ、改めて伯備新幹線の整備促進に向けた決意を新たにしたいところである。また、フル規格による新幹線整備を最終形としつつも、ミニ新幹線など本来線利用を前提とした整備手法も検討対象になり得るという見解も確認ができた。今後、伯備新幹線・山陰新幹線整備促進米子市議会議員連盟とも連携して、伯備新幹線の早期整備を国に訴えたいと考えている。

議員 これまで中国横断新幹線整備推進会議と四国新幹線整備促進成会は基本計画路線から整備計画路線への格上げを求め、別々に誘致活動を展開して

きたところである。今後、南海トラフ巨大地震の対策等も考えると、中国・四国はより連携して、要望活動を展開すべきと考えるがどうか。



吉岡 古都 議員 (よなご・未来)



新たなごみ処理施設整備について

議員 鳥取県西部広域行政管理組合が計画している新しいごみ処理施設の建設費の増額内容と本市の負担額を伺う。

市民生活部長 令和2年算出の事業費から約108億円増加の約421億6000万円であり、そのうち本市の負担額は5億1000万円増の22億459万1000円である。

議員 財源となる一般廃棄物処理施設整備負担基金の増額の必要性を伺う。

市民生活部長 今後算出される詳細な施設整備費を踏まえ、検討する必要がある。

議員 建設費以外の費用とその財源について伺う。

市民生活部長 計画策定業務、用地の取得、地質調査事業、敷地造成の費用が必要になり、国の交付金や起債、組合への市町



戸田 隆次 議員 (自由創政)



市長の政治姿勢について

議員 市長は、令和7年度当初予算編成方針において、「最少の経費で、最大の効果を挙げ」るとし、限られた財源を最大限有効活用するとしている。そのためには、継続的・固定的なコスト削減の観点から借地問題を解決することが最重要と思慮するが、本庁舎の借地問題に係る交渉の進捗状況について伺う。

市長 これまで重ねて買取り交渉を続けているところであるが、このたび地権者から、「貴市の要望を誠実に受け止める」とともに、本物件を売り渡す場合の要望を申し入れている。本物件の売渡しについては、現時点で合意に至るものではないが、貴市及び弊社双方が、誠意をもって可能な条件等を検討している段階にある」という状況を伺ったところである。引き続き、条

件が整い合意形成という運びになるよう鋭意交渉を続けたい。

米子駅目久美町線の通称名について

議員 米子駅南側のにぎわい創出の観点から、現在工事中である市道米子駅目久美町線に通称名を付けてはどうかと以前から要望していたが、その検討状況及びネーミングについて伺う。

市長 地元の方々や意見交換をしてきたが、地元の意向としては、市道米子駅目久美町線は目久美町地内にあること、また平仮名で書くこと地名のほか「天の恵み」の意味も含まれるなどにより、道路の通称名は「めぐみ通り」としたいとのことであった。本市としても、地名との親和性や分かりやすさ、親しみやすさなどの点で、ふさわしいネーミングと考えており、新たに整備した駅南広場からの通りを「めぐみ通り」としたい。

(その他の質問項目)
○中海架橋の整備促進について
○道の駅整備について
○3歳未満児の保育料無償化について

村の負担金を充当する。

議員 全国的に30年以上稼働するごみ焼却施設は半数以上あるが、既存の米子市クリーンセンターは30年で廃止予定である。市民の費用負担の軽減を図るために、既存施設の延命化と新設の場合の費用の比較検討が必要と考える。状況の変化を踏まえて見直すのは市長の責任であると考えが見解を伺う。

市長 比較検討するための材料がないと言ってきているが、市長に検証せよというのはおかしいので、議員がその材料を出すべきであると考え。計画を覆すにもコストがかかるため、目先のコストで決めることではない。

議員 過去に延命化と更新の比較検討は定量的になされている。地方公共団体として最少の経費で最大の効果を挙げるよう合理的な判断を求める。

Comparison graphic: どちらが安い検証を (Which is cheaper verification). It compares '新しいごみ焼却施設' (New incineration facility) with '米子市クリーンセンター' (Miyoshi City Clean Center). The graphic shows a factory icon for the new facility and a building icon for the center, with 'VS' between them. Text below says '用地を取得して新たに建設' (Acquire land and build new) and '長寿命化改修して続けて使う' (Renovate for long life and continue to use).



おおした てつじ 議員 (信風) 大下 哲治



教職員の人手不足対策について

議員 病気休職や産休・育休などによって欠員が生じる「教員不足」が深刻な状況であり、教育現場では休んでおられる方々の仕事をカバーするため、限られた人員の中で対応に当たられている。「教員不足」の影響は、教職員だけでなく授業や子どもたちへの影響も懸念されるが、本市における教職員の人手不足への対応について伺う。

て取り組んでいる。

フッ化物洗口について

議員 フッ化物による洗口や塗布による虫歯の抑制は一定の効果があると認められており、本市においても市内の全小学校においてフッ化物洗口が行われているが、教育現場では日々の業務に加え、人手不足が深刻であり、フッ化物洗口の実施は教職員にとっての精神的負担が大きいとの声が上がっている。教職員の負担軽減のためにも、学校だけでなく地域や保護者の方々と連携するなどして、実施体制の見直しを行ってはどうかと考えるが見解を伺う。

教育委員会事務局長 各学校の実情などを踏まえながら、必要に応じて取り組んでいきたい。議員 学校と行政、それぞれの負担を軽減するには、関係者同士で共通の認識を持ち、同じ方向を向く中で今の現状と課題を把握し、それぞれが役割分担をしながら進めていく体制づくりが必要であると考え、対応を要望したい。



いとう ひろえ 議員 (信風) 伊藤ひろえ



子どもの食支援について

議員 ひとり親であっても、子どもに障がいがあっても孤立しない社会が望ましい。特に子育て中は一人での育児が心身ともにつらく厳しい。子ども宅食は、出前型の食支援を通じて家庭を見守り、経済的事情、病気がいなど様々な困り事を抱えた家庭に食支援を通じて訪問し、家庭と支援者の継続的な接点を持つ取組である。行政の支援制度は年々充実してきているが、そこにやることのできない人、また相談につなぐことが難しい、そのような支援家庭にとっても効果的だと考える。そこで、子ども宅食を米子市でも実践できないか伺う。

市長 困り事を抱えた子育て世帯の孤立を防止するために、アウトリーチ型の支援は有効であると認識している。現在、本

市が行っている困り事を抱えた家庭への食に係る支援としては子ども食堂への広報や食材確保の支援の実施など、子ども食堂を通じて支援などを行っている子ども宅食という手法を用いたアウトリーチ型の支援についてその必要性や有用性、そして財源確保の在り方など他市での取組も参考にしながら、調査・研究をしていきたい。

生活困窮者対応について

議員 米子市においてもネットカフェや車上での生活など、家がなくホームレス状態の方が存在している。そこで、一時生活支援事業についての認識を伺う。

福祉保健部長 この事業は居住支援協議会との連携が欠かせないと考えており、今検討がなされている。

議員 本年10月に米子市居住支援協議会の設置が検討されていると伺った。それから検討するのではなく、それに合わせて一時生活支援事業の取組が開始できるように要望する。



まつだ しんや 議員 (よなご・未来) 松田 真哉



米子駅前通り3車線化の是非

議員 駅から医大を抜けて境港に向かう主要な県の道路である米子駅前通りは現在4車線であるが、車道を一車線潰して3車線化することが検討されている。今年度実施された実証実験の内容と予算額について伺う。

総合政策部長 駅前通りの歩行空間の拡大に向け一部区間の車道にテーブルやベンチを置き飲食店の出店などを行った。予算額は約2300万円である。議員 実際に4車線を3車線化した場合の工事費用は幾らかかる想定なのか。

総合政策部長 手法を検討している段階で工事費用が幾らかかるのかは分からない。議員 例えば米子駅南側の米子駅目久美町線の工事を参考にすれば10億円程度かかるおそれがある。人口減少が進み無駄遣

いができない時代に、なぜお金をかけて交通量が多い車道を狭くするの必要性が理解できない。渋滞の問題、防災の問題などから駅前通りの3車線化の構想をこれ以上進めるのは反対である。駅前通りの一日の交通量は1万6000台を超えているが、どのように渋滞を解消する考えなのか。また、災害時の緊急輸送路や避難路となっているがどのように対処するのか。

総合政策部長 県と課題を共有しており、引き続き協議を続けたい。

議員 令和7年度も3車線化に向けた実証実験が予定されているが、バルセロナのスーパーブロック計画のように、歩行者の安全を優先しながら車をどのように迂回させるのか、周辺一体の複数の道の役割を考えると数千万円の予算がかかり、県もハードルが高いとの意見を示している。実現の可能性が低いまま進めるのではなく、迂回経路を確定させてから実証実験に進むべきではないか。

市長 多少長い期間で実証実験を行った上で、渋滞がどうなるのかということ把握したい。

相談者ニーズに寄り添う支援について



やたがい かおり 議員 (公明党議員団) 矢田貝香織



議員 総合相談支援センター「えしこ」で対応する相談の中で、複雑化、複合化した生活福祉課題を抱える世帯の支援の多くは、日頃からの寄り添い、見守りが必要としており、地域住民のつながりを生かす取組、仕組みづくりが必要ではないか。多種多様な相談支援に関係する方々で、米子市の独自の継続支援の在り方というものを協議し、方針をお示しいただきたいかがか。

市長 つながり続ける形での伴走支援の必要性が高まっていると認識している。各課の緊密な連携による伴走支援の継続・強化とともに、今後は総合相談支援員、地域福祉活動支援員、地区担当保健師及び地域活動支援員で編成するチームが一体となり、地域包括支援センター

子ども・若者の居場所について

議員 多くの子育て世代が来館する「ふれあいの里」に移転した「子育てひろば支援センター」に代わる親子が安心して過ごせる場所が必要ではないか。大会議室の利用を提案するかがか。

子ども総本部長 子ども・子育て世代の居場所として、1階の人権情報センター内に親子でくつろげるスペースの設置を検討している。大会議室は、令和6年度から平日の夜間と土日・祝日のみ一般貸出しを行っている貸し館施設であり、子ども・子育て世代の居場所としての活用は想定していない。

議員 大会議室の平日・昼間の空いている時間の開放の仕方について、前向きに検討いただきたい。



津田 幸一 議員
(公明党議員団)



米子市役所の駐車場の安全対策の進捗について

■議員 令和6年6月定例会で市役所駐車場について質問し、繁忙期の3月から4月に公用車を正面玄関側のスペースに移動して駐車場を確保することや幅2・5メートル以上あるゆったりスペース等のエリアを試行的につくことなどを提案したが、今後どのようにされるのか伺う。

■市長 正面玄関前スペースは、多目的な用途に使用することを前提としており、恒常的に駐車場とすることは困難であるが、市民の皆様が困ることのないように対応したい。有料駐車場については、利用状況を分析した結果、例えば住民票等のコンビニ交付を利用される方などの増加により、満車となる日がほぼなくなったことが確認できている。これを踏まえ、有料駐車場の白線の幅を広げることについて

では、来庁者の安全性の向上のために実施の方向で検討を進めたい。
■議員 市長より前向きな御答弁をいただいたことに感謝したい。

自治会・町内会等の防犯対策について

■議員 自治会・町内会への防犯灯の補助のように、防犯カメラ設置を市で補助し、自治会でランニングコストや管理する考えについての見解を伺う。

■総合政策部長 防犯カメラについては、国・県で設置や運用も含め、様々なガイドラインが策定されており、市として支援を行う際には、このようなガイドラインを踏まえた対応が求められる。他の自治体、特に都市部などでは県や市町村が、自主防犯団体を指定して支援する例もある。様々な例について研究してみたいと考えている。

■議員 他の団体による設置支援例など早期に研究をされ、自治会、町内会内、自治会所有の施設等への防犯カメラ設置支援について要望する。



安達 卓是 議員
(信風)



義務教育学校開校準備事業の進捗について

■議員 事業の遅延の背景と要因及び当初の計画から開校が遅れると判断した経過を伺う。

■教育委員会事務局長 事業を進める中で様々な課題が出てきたところであり、当初の見込み以上に工事の工期を要すること、また全国的な資材調達の状況等の不測の事態も懸念されることから、昨年末の時点で遅れるとの判断に至った。

■議員 この事業のプロジェクトチームはいつ設置し、どのように稼働させてきたのか伺う。

■教育委員会事務局長 令和4年度に部局を横断した体制を整備し、農地転用など専門に所管している関係課と連携しながら事業に取り組んできた。

■議員 義務教育学校整備に係る会議を傍聴した際に、教育委員会から最高の学校を造りたい

との言葉を聞いたので、すごい期待感がある。ところで、通学の際の米川沿いの防風対策や日没時の安全対策は、どのように考えているのか伺う。
■教育委員会事務局長 令和7年度以降に、より安全な通学路の設定や通学バスなども引き続き関係機関と協議していきたい。
■議員 美保地域のまちづくりについてどう考えているか伺う。
■市長 方向性を大きく変えることはないが、廃校の跡地活用では新たな拠点づくりを、公共交通の対策では循環バスの早期本格運行を目指したい。
「地域つながる福祉プラン」に関わる日常生活自立支援事業について
■議員 プランに関わる日常生活自立支援事業について伺う。
■福祉保健部長 これは、知的障がい、精神障がい等により判断能力が不十分な方が住み慣れた地域で安心して自立した生活ができるよう、必要な福祉サービスに関する利用援助を基本とし、重要書類等の預かりを行い、市社協の生活を支援する事業である。この事業の実施に伴い、今後緩やかに待機ケースが減る見込みであると伺っている。



徳田 博文 議員
(公明党議員団)



「COOLOプラン」を受けての不登校支援の推進について

■議員 不登校の生徒の高校進学を支援するため、自宅やスペシャルサポートルーム、教育支援センターでの学びを確実に学校での成績に反映させることが重要である。本市の中学校における現在の状況と今後の取組について伺う。

■教育長 本市として、今後も学び方やその場所を問わず、子どもたちにとって学習した成果が正当に評価されたと感じられるよう、そしてその評価によって成長が促されるような営みとなるように努めていきたい。これまでも各学校に対して指導してきており、新しい選択肢として学びの場の設置や新たな学びの方法も示している。全ての学びが引き続き適正に評価されるよう、各学校に指導していきたい。

■議員 子どもたちの学びと期待と成長の足跡がしっかりと保護者の皆さん、学校関係者の皆さんが子どもと一緒に実感できる学びの実現を心から要望する。

福祉避難所の運営について

■議員 令和元年の台風19号を踏まえ、高齢者、障がい者等の指定福祉避難所への直接避難の促進について伺う。

■防災安全監 現在本市では、関係機関との協定に基づく福祉避難所への二次避難が基本である。一方、現在取組を進めている個別避難計画の策定事業では日頃から利用している施設への避難体制の構築を図っており、必要に応じて福祉施設への直接避難ができる仕組みを整えているところである。今後個別避難計画の作成を進めた上で、指定福祉避難所の指定についても考えていきたい。

■議員 市民の中には日頃から利用している福祉施設に直接避難したいとの声がある。ぜひとも取組を進めるよう、強く要望する。



森田 悟史 議員
(無所属)



不妊治療について

■議員 特定不妊治療には保険適用だとしても高額の自己負担が発生し、治療も複数回必要になるケースもある。このような経済的負担についてどのように認識しているのか伺う。

■福祉保健部長 保険適用後、治療費の自己負担が3割になり、高額療養費制度の対象にもなったため、経済的負担は軽減されていると考えるが、1回の治療で終了するケースは多くなく、複数回の治療が必要となるため、負担が増大する場合もあると認識している。

■議員 不妊治療を受ける方々の経済的負担を軽減する観点から、本市の助成制度では現状で十分な支援となっているのか、また利用者のニーズをどのように把握しているのか伺う。
■福祉保健部長 現在行っている費用助成は治療費に対してのみであり、不妊治療を受けている方の経済的負担は治療にかかるものだけではないため、ニーズに沿った助成が必要であると認識している。ニーズの把握は、「はぐてらす」を通じて利用者の意見を伺うようにしている。

元町パティオ広場の整備状況について

■議員 イベント広場にトイレがないことでのような影響があると認識しているのか伺う。

■経済部長 地元商店街関係者やイベントの関係者からは、周辺にトイレがないことで、親子連れがイベントに参加しにくい、イベントや商店街でも滞在時間や集客力が低下するという声をいただいている。

■議員 パティオ広場近隣の空き地を活用した公衆トイレ整備について、市の方針を伺う。

■市長 イベントが恒常的にさかれていたり、周辺を歩く方に対して適切に公衆トイレを整備することは、必要だと思う。そうしたトイレが設置できる空き地があるのか、周辺を調査した上で、できるのであればトイレの設置に向けて検討を進めたい。



稲田 清 議員
(蒼生会)



角盤町・米子港・城下町周辺エリアの活性化と町家の保存・活用の推進について

■議員 角盤町・米子港・城下町周辺エリアの活性化の具体的な内容について伺う。

■総合政策部長 角盤町周辺の路面美化等、各種整備が進んでいる。地域資源のさらなる磨き上げにつながる整備推進を引き続き行い、にぎわいの創出につなげていきたい。

■議員 観光庁が公募している歴史的資源を活用した観光まちづくり事業について認識を伺う。

■文化観光局長 観光庁の観光立国推進基本計画に基づき、地域における城や神社仏閣といった重要文化財等の歴史的資源を活用して、地域を面的に再生させるためのまちづくりの取組の進捗に合わせ、専門家が伴走支援するという調査事業である。

■議員 愛媛県大洲市の事例をどのように捉えているのか伺う。

■文化観光局長 大洲城の城下町にある町家や古民家などを宿泊施設等として活用し、まちの活性化への取組につなげていると認識している。

■議員 ウォークアブル推進、にぎわい創出、インバウンド事業等の創出を意識した上で、まちづくりビジョンに掲げてある角盤町・米子港・城下町周辺エリアの活性化と町家の保存活用の推進を掛け合わせて捉えるべきと考えるが見解を伺う。

■市長 ぜひ、前向きに考えたい。町家の保存活用は、地域の歴史的価値を適切に保存し、それを後世にも伝える大切な事業である。その際、まず所有者の同意が前提となり、リフォームを行うとして、その物件を適切に利活用するという段階も見据えることが必要である。いずれにしても宿泊施設や居住施設、あるいはオフィスや店舗等、民間事業者の取組や意見をしっかりと聞いた上で進めていきたい。

■議員 関係者と協議をする場を設定を求めたいが見解を伺う。

■市長 実務者レベルの協議の場は必要だと思う。これについては内容により関係係部局に対応を指示したい。



錦織 陽子 議員
(日本共産党米子市議団)



偽装請負防止と委託業務上の事故の取扱いについて

■議員 令和6年12月定例会において、市立保育園内で給食調理業務委託事業者の調理員が、保育士からの指示で園児の見守り中に転倒骨折した事故について取り上げた。本市では、建設関係の発注工事で事故が発生した場合、事故調査等をルーブル化しているが、今回の事故では調査は一切なく、個人の責任として扱っており、事故の原因究明と再発防止のためルーブル化が必要だと考えるがどうか伺う。

■総務部長 発注工事以外で事故が発生した場合は、委託事業者が事故の事実確認を行った上で原因究明を行い再発防止策を講じることとしており、市がその報告を受けることになっていく。今回の事故の件は、調理員が委託事業者の調査を経て労災認定を受けたと認識している。

■議員 事故は調理場ではなく、園行事の見守り中に発生しており、本市では原因究明も再発防止策も受注業者任せだったということが分かったが、事故後、委託事業者とはどのような話し合いをされたのか不明である。偽装請負が疑われるような事象を発生させないため、契約書の変更をしたのか伺う。

■こども総本部長 園行事の調理員の参加は、市と委託業者が双方で同意した委託業務内容に基づく食育への協力の一環により委託業者の指示で参加したもので、従来から食育とは関係のない園行事に調理員は参加しておらず書換えはしていないが、偽装請負防止の研修講師に指摘され、契約が曖昧な箇所については一部変更を行った。

■議員 これは、食育とは全く関係のない園行事の見守りに調理員が参加した事例である。偽装請負防止の研修では、見守りは、公務員が実施すべき業務として民間委託不可とした業務と厳しく指摘された。また、鳥取労働局に確認したところ、園児の見守りは、双方が合意したとしても調理業務の請負ではなく派遣労働になるとのことである。



またの 史郎 議員
(日本共産党米子市議団)



誰もが健康で文化的な生活ができる社会を目指して

■議員 生活保護世帯の車の所有は原則禁止されているが、所有・使用が認められる場合の要件を伺う。

■福祉保健部長 要件は、通勤や通院のために車を使用することがやむを得ない場合で、車の維持経費が賄える場合に認められている。

■議員 国からの通知により、これまでは通勤や通院で車の使用が認められた場合、そのときしか使用できなかったが、日常生活に必要な買物でも使用できるようになった。車は生活必需品であり、現行の車利用の基準は地方では通用しない。本市において、生活保護世帯が自立するために必要な車利用の基準を緩和する必要があるのではないかと。■福祉保健部長 全国市長会等において国に対し要件の緩和を

要望してきており、本市としても基準緩和の必要性について認識している。

治療を諦めるような医療費負担にならないために

■議員 国は高額療養費の患者自己負担額を引き上げようとしているが、がん患者の団体などは「治療を諦めざるを得なくなる」と反対している。島根県知事も「国家的殺人だ」と言っている。この制度の改悪について市長の見解を伺う。

■民生生活部長 国において、しっかりとした議論を尽くしていただきたい。

■議員 住民の命・健康を守ることが第一である地方自治体の長として、どのように考えているか市長の口から聞きたかった。国において、500兆円を超える大企業の内部留保に課税をしたり、大金持ちに対して累進課税を強化するなどして財源を確保し、誰もが治療を諦めることがないような医療保険体制を継続していかなければならないと主張する。

(その他の質問項目)
○みんなから望まれる学校を整備するために



いましろ まさこ 議員
(公明党議員団)



生命を守る避難所基準の導入について

■議員 100年に一度と言われる大規模災害が頻発し、誰でも被災者となるリスクがあると感ずることから、避難所の環境整備について、米子市地域防災計画ではどのような考え方で盛り込まれているのか伺う。

■防災安全監 避難所環境に関しては、国から示されるガイドラインや鳥取県避難所機能・運営基準、鳥取県避難所運営マニュアル作成指針などを参考とし、地域防災計画に盛り込んでいる。基本方針としては、被災者の生活環境の整備に必要な措置を講じることとしている。

■議員 各地での大規模災害を受け、国では命を守るスフィア基準について検討を始め、発災後48時間以内に基準を満たすことを目指しており、県は24時間以内を目指すとされている。本市

においても避難所の資機材の配備等の基準を見直し、計画的にこのスフィア基準に近づけられるように「命を守る基準」の導入の検討を始めるべきだと感じているが、御所見を伺う。

■市長 スフィア基準は、本市としても大変重要な課題であると認識している。今後、国の防災計画などにどのように反映されるか、スフィア基準に近づけるために国の補助金にも注視しながら、引き続き災害への備えに取り組んでいきたい。

带状疱疹ワクチンの定期接種について

■議員 带状疱疹ワクチン接種は、本年4月1日から65歳を対象に接種費用の一部を公費とする定期接種となる。定期接種化の周知と広報について伺う。

■福祉保健部長 接種券を個別通知する際に案内や説明書を同封し、発症する仕組みや合併症、ワクチンの有用性、接種に当たっての注意点などを周知することとしている。市報やホームページにおいても同様に行う。

■議員 定期接種でないワクチン接種が必要な方への本市における接種費用助成を要望する。



議員 靖 国頭 (よなご・未来)



米子市内でのPFASについて

議員 上水道では令和2年からPFOS、PFOA等の検査を行っており、西尾原の水源地では、有機フッ素化合物のPFASが多いときで24ナノグラム直近の令和6年12月では13ナノグラムと定期的に検出されているが、原因を調査しないのか。

水道局長 国が定める暫定目標値57ナノグラム以下であり、減少傾向にあることから、現時点では特段の対応は考えていない。

団体で調査をしている団体は今のところ承知していない。議員 現在でも該当地区900世帯には水を供給しているが、心配をする人は家庭にそれを取り除く装置をつけたりしている。過去の答弁では、それを取り除くためには粒状活性炭処理や逆浸透膜のRO膜の処理等があると答えているが、それを実施する考えはないのか。

水道局長 現時点での数値では、国の最近の科学的知見等により基準が導かれており、それ以下の状態であるため、そのような設備の対応等について現時点で行う考えはない。

議員 検出される化合物は自然界にないもので、人工的につくられたものであり、産廃等が一番考えられる。産廃の管轄は県であり、上下水道局でできないのであれば、県と一緒に調べて原因調査をするべきではないか。数値が上昇してからののではなく、今からでもしていただきたい。調査をしないのであれば、除去するような方策も含めて考えていただくことを要望したい。



議員 幸 中田 (信風)



市役所のDX化の推進と市民サービスの向上について

議員 本市は業務改革と効率化を進め、行政サービスの向上に取り組んでいるところであるが、現在までのDXの取組状況を伺う。

DX推進監 業務効率化として、事務手順や手作業をデジタルツールで自動化を進め、不要な業務や手順を廃止し、単にデジタル化するだけでなく、業務の進め方自体を見直し、効率化を図っている。市民サービス向上としては、市役所に来なくても、スマホやパソコンで申請や市税の支払いができる仕組みを整え、いつでも手続ができるようにしている。市税等の支払いは、キャッシュレス決済やクレジットカード決済ができ、コンビニエンスストアでは、証明書の交付や市税等の支払いができ、利便性を高めている。

議員 今後の推進計画について伺う。

DX推進監 デジタル技術で地域の課題を解決し、本市の魅力を高める施策を進めたい。また、スマホの普及に伴い、操作が苦手な方へのサポートが重要であるため、市民が安心してデジタルサービスを使用できるよう、スマホよらず相談などのサポート活動を実施し、デジタル格差を解消していきたい。

議員 将来的に目指す窓口の在り方について伺う。

市長 将来的に市役所の手続が全てスマートフォンで完結し、来庁せずとも手続ができるような市役所を目指したい。書類の申請や届出、市税などの支払いをスマートフォンやパソコンでできるようにし、併せて業務の自動化により職員の事務を減らし、これによって確保した力を対面での相談業務に向け、市民サービスの向上を目指したい。サービス提供の在り方については、市役所に限らず、市民の皆様が身近な場所で行うことが理想的で、コンビニでの証明書の交付のように、市民の皆様が便利に利用できる仕組みが望ましいと考えている。



議員 基 岩奥 (蒼生会)



子どもを支える環境について

議員 こども計画の重点施策である「こどもの居場所の拡充」や「地域全体でこどもの育ちを支える取組の推進」の観点からも、他市のように複合施設を設置し、それらを同時に実現するべきではないか。

こども総本部長 まずは既存施設を最大限に活用できるように取り組み、子どもの居場所の拡充、地域全体で子どもの育ちを支える取組を推進していきたい。

議員 米子駅周辺に複合施設を設置した場合、他市のように滞留人口が増加するなどし、投資効果の面でも有効と考えるが、このような施設を設置する考えはあるか。

総合政策部長 立地適正化計画に基づき、駅周辺の活性化や規制緩和、民間投資促進を進めている。今後、子どもや若者の

コミュニティの場づくりも進めていきたい。

議員 災害ごみの一時集積にも対応可能な屋外運動施設の整備について考えを伺う。

市長 日野川運動公園は浸水のおそれがある。災害ごみの一時集積場所は、米子市廃棄物処理計画に基づき、調査・研究を進めている。市民の健康増進に寄与し、災害時のごみ集積場所にも活用できる屋外運動施設の整備については研究していきたい。

議員 学校グラウンドの芝生化を進める中、公園、緑地、地区グラウンド等の芝生化をしてはどうか。

都市整備部長 施設の位置づけや利用状況等を勘案しながら、施設の改修等の際に選択肢の一つとして考えていきたい。

議員 維持管理の観点から、人工芝の設置も考えてみてはどうか。

市長 人工芝という選択肢も当然考えていくべきではないかと思う。

(その他の質問項目)

○イメージキャラクターについて

○職員数について



議員 充 塚田 (蒼生会)



部活動改革について

議員 令和8年度には、部活動地域移行の方向性を示さなければならぬが、国の方針と本市の取組について伺う。

教育委員会事務局長 令和4年度から米子市版部活動在り方協議会を計8回開催し、本市の方向性を協議しながら、並行して人材バンクを立ち上げ、部活動指導員を積極的に配置した。一方、令和6年12月に国からの部活動改革に関する実行会議の中間とりまとめにおいて、次期改革期間を令和8年度から13年度の6年間と設定し、原則、休日の学校部活動は地域展開の実現を目指すことと示され、本市において引き続き改革を推進する。

議員 地域クラブに移行するのであれば、大会参加費や指導者への報酬など部活動のような支援ができないか伺う。

教育長 地域クラブから参加する生徒に対しても、学校の部活動から参加する生徒と同様の支援となるよう、検討していきたい。また、指導者への報酬を含めた費用負担については、引き続き国や県への支援を要望するとともに、本市の実情に応じた安定的で継続的な取組をしていきたい。

議員 部活動の受皿となる地域クラブが学校の体育館施設を優先的に使用できるようにすべきではないか伺う。

教育委員会事務局長 現在、授業や学校行事、部活動などで使用する時間を除いて、地域のスポーツ団体などが利用できるよう開放している。また、部活動に代わり、生徒たちの活動の受皿となる地域クラブについては、今後の本市における部活動改革の内容に応じて、学校施設の使用方法的な調整を図っていきたい。

議員 今後部活の地域移行を進めていく中で、柔軟な対応をお願いする。

(その他の質問項目)

○公共交通政策について

○災害に強いまちづくりについて



たむら けんすけ
田村 謙介 議員
(自由創政)



シテイプロモーションの推進について・7

■議員 平成28年から、湊山公園にあるS.L. D51の米子駅周辺への移設を提案し、ようやくだんだん広場への移設方針が示されたが、「鉄道のみち米子」のシンボリックなものとしては、動線から外れただんだん広場ではなく、米子駅正面の山陰鉄道発祥の地のモニユメントの辺りに置くべきではないか。

■都市整備部長 駅正面のエリアに幅約3㍓、長さ20㍓のS.L.を移設すると、滞留空間としてのスペースが大きく制限される。だんだん広場には十分なスペースがあり、また、広場内のイベント等への利活用の影響は少ないため、だんだん広場へ移設することにしたところである。

■議員 モニユメントの裏側にある植栽をならせばS.L.が置け、広場のスペースも確保できる。

せつかく駅前に移設するのであれば、人の動線外ではなく、新橋駅前S.L.広場のような待ち合わせ場所となるよう、駅正面への移設について再度検討していただくよう要望する。

米子城跡の復元とにぎわい創出について・18

■議員 鳥取城跡では、写真1枚から図面を起こし、擬宝珠橋の復元を実施し、現在、三重やぐらの復元まで検討している。史跡米子城跡整備基本計画の15年計画の中で既に5年が経過しているため、発掘調査、復元検討に入っていたらいいと考えている。米子城が少しでも顕在化し、観光のシンボルとなるために、外観復元等を含め、四重やぐらの復元の検討を開始すべきである。

■文化観光局長 現在、史跡米子城跡整備基本計画に基づき順次整備を進めており、現在は三の丸の広場の整備に注力している。整備が完了した後は二の丸整備に着手することとしており、その後、四重やぐらを含めた本丸の発掘調査を実施し、その調査成果などを踏まえ、本丸の整備方法について判断することになると考えている。

令和7年6月定例会のお知らせ

市長改選のため、6月定例会の日程は、5月中旬に決定する予定です。決まり次第、市議会ホームページに掲載しますので、そちらをご覧ください。また、議会事務局にお問い合わせください。

令和7年5月10日に実施しました米子市議会「議員と語ろう 議会報告会&意見交換会」の様子は次号に掲載予定です。お忙しい中ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



令和7年米子市議会3月定例会提出議案等審議結果一覧表

●全会一致で議決した議案●

議案番号	件名	議決結果
議案第3号	功労者の表彰について	原案同意
議案第4号	上下水道事業に係る組織体制の統合に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決
議案第5号	損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について	原案可決
議案第6号	専決処分について(令和6年度米子市一般会計補正予算(補正第11回))	原案承認
議案第7号	米子市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第8号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決
議案第9号	米子市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第10号	米子市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第11号	米子市淀江温浴施設条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第12号	米子市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第13号	米子市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第14号	米子市企業立地促進のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第15号	米子市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第16号	米子市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第17号	米子市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第18号	米子市企業職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第19号	米子市水道布設工事監督者に監督を行わせる水道の布設工事及び水道布設工事監督者の資格を定める条例及び米子市水道技術管理者の資格を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第21号	財産の無償譲渡について	原案可決
議案第22号	財産の取得について	原案可決
議案第23号	市道の路線の認定について	原案可決
議案第24号	市道の路線の変更について	原案可決
議案第26号	令和6年度米子市国民健康保険事業特別会計補正予算(補正第3回)	原案可決
議案第27号	令和6年度米子市駐車場事業特別会計補正予算(補正第2回)	原案可決
議案第28号	令和6年度米子市介護保険事業特別会計補正予算(補正第5回)	原案可決
議案第29号	令和6年度米子市後期高齢者医療特別会計補正予算(補正第3回)	原案可決
議案第30号	令和6年度米子市水道事業会計補正予算(補正第1回)	原案可決
議案第31号	令和6年度米子市下水道事業会計補正予算(補正第5回)	原案可決
議案第33号	令和7年度米子市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決
議案第34号	令和7年度米子市土地取得事業特別会計予算	原案可決
議案第35号	令和7年度米子市駐車場事業特別会計予算	原案可決
議案第36号	令和7年度米子市市営墓地事業特別会計予算	原案可決
議案第37号	令和7年度米子市介護保険事業特別会計予算	原案可決
議案第38号	令和7年度米子市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第39号	令和7年度米子市米子インター周辺工業用地整備事業特別会計予算	原案可決
議案第40号	令和7年度米子市米子インター西産業用地整備事業特別会計予算	原案可決
議案第41号	令和7年度米子市水道事業会計予算	原案可決
議案第42号	令和7年度米子市下水道事業会計予算	原案可決
議案第43号	米子市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第44号	監査委員の選任について	原案同意
議案第45号	公平委員会委員の選任について	原案同意
議案第46号	米子市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第47号	米子市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決

令和7年米子市議会3月定例会提出議案等審議結果一覧表

●賛否が分かれた議案及び陳情●

議案等番号	件名	議決結果	自由創政		
			岩崎康朗	岡田啓介	田村謙介
議案第20号	第4次米子市総合計画の基本構想の変更について	原案可決	○	議	○
議案第25号	令和6年度米子市一般会計補正予算(補正第12回)	原案可決	○	議	○
議案第32号	令和7年度米子市一般会計予算	原案可決	○	議	○
陳情第90号	「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	不採択	×	議	×
陳情第91号	ガソリン税の暫定税率の可及的速やかな廃止など、ガソリン高対策の実施を求める意見書の提出について(陳情)	不採択	×	議	×
陳情第93号	国産食料の増産、食料自給率の向上、家族農業支援強化を求める陳情	不採択	×	議	×
陳情第94号	裏金問題の徹底説明とパーティー券購入を含む企業・団体献金の禁止を求める陳情	不採択	×	議	×
陳情第95号	国に対し「原発依存度の低減」を求める意見書を提出することを求める陳情	不採択	×	議	×

●陳情の議決結果の理由等①●

陳情第90号	<p><賛成意見> 現状の地域別最低賃金が続けば、都会への人口流出も地域間格差も続くばかりである。全国一律の最低賃金にするには、中小企業や小規模事業者への抜本的な支援が必要であり、この意見書を提出することが地域経済や市民の暮らしを支える上でも大変重要だと思い賛成したい。</p>
	<p><反対意見> ①政府は、2020年代に全国平均で1,500円にするという目標の達成に向かって努力され、中小企業等への経営基盤の強化、賃上げ環境の整備なども拡充され、地域間格差の是正にも取り組むなど、既にこの問題を認識し、対応を行っているところである。 ②最低賃金の大幅な引上げで人件費が急増すると、経営悪化を招く可能性が高く、特に中小企業や個人経営の事業者にとっては人件費の負担が収益を圧迫し、場合によっては倒産につながるおそれがある。最低賃金を一律に上げると、労働時間は減り、ただでさえ人手不足の世の中で労働供給を制約してしまうおそれもあり、最低賃金を一気に引き上げるのではなく、段階的に引き上げていくことが現実的である。 ③経済は、一般生活者の購買力だけで循環しているのではなく、設備投資や様々なお金の動きの総体として動いているものであり、この部分だけが引き上げられても、お金が循環しなければ場合によっては逆の効果が出るもので、基本的な経済に対する考え方が違う。</p> <p>採決の結果、不採択となりました。</p>

令和7年米子市議会1月臨時会提出議案審議結果一覧表

●全会一致で議決した議案●

議案番号	件名	議決結果
議案第1号	令和6年度米子市一般会計補正予算(補正第10回)	原案可決
議案第2号	令和6年度米子市下水道事業会計補正予算(補正第4回)	原案可決

○：賛成 ×：反対 議：議長

賛否の状況

自由創政	蒼生会						よなご・未来				公明党議員団				信風			日本共産党米子市議団	無所属	新ファミリア		
戸田隆次	西野太一	稲田清	奥岩浩基	門脇一男	塚田佳充	渡辺稜爾	国頭靖	土光均	松田真哉	吉岡古都	今城雅子	津田幸一	徳田博文	矢田貝香織	安達卓是	伊藤ひろえ	大下哲治	中田利幸	錦織陽子	又野史朗	森田悟史	森谷司
○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×
×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×
×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×
×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×

●陳情の議決結果の理由等②●

陳情第91号	<p><賛成意見> ①何十年も暫定で税率が続いているのは改めるべきである。この暫定税率というのを1リットル当たり20円強かけていながら、ガソリン高対策として補助金を出しており、やり方としては矛盾している。 ②ガソリン価格の引き下げは、地方にとって特に必要である。また、暫定税率を廃止し、必要であれば改めて本来の税率の妥当性を議論すべきである。</p>
	<p><反対意見> ①陳情提出日から日がたっており、国の議論に動きがある。それぞれの対応は足並みが乱れている状況の中だが、国において、暫定税率廃止に向けて一致しているので、国の議論を見守っていきたい。 ②ガソリン税は特定道路財源としてだけでなく、一般財源に組み込まれているので、暫定税率廃止となると、地方財政の減収が想定され、代替財源の確保が必要となってくることから、可及的速やかに廃止を求めていくことは困難であるため、本陳情の内容は現実的ではなく賛同できない。</p> <p>採決の結果、不採択となりました。</p>



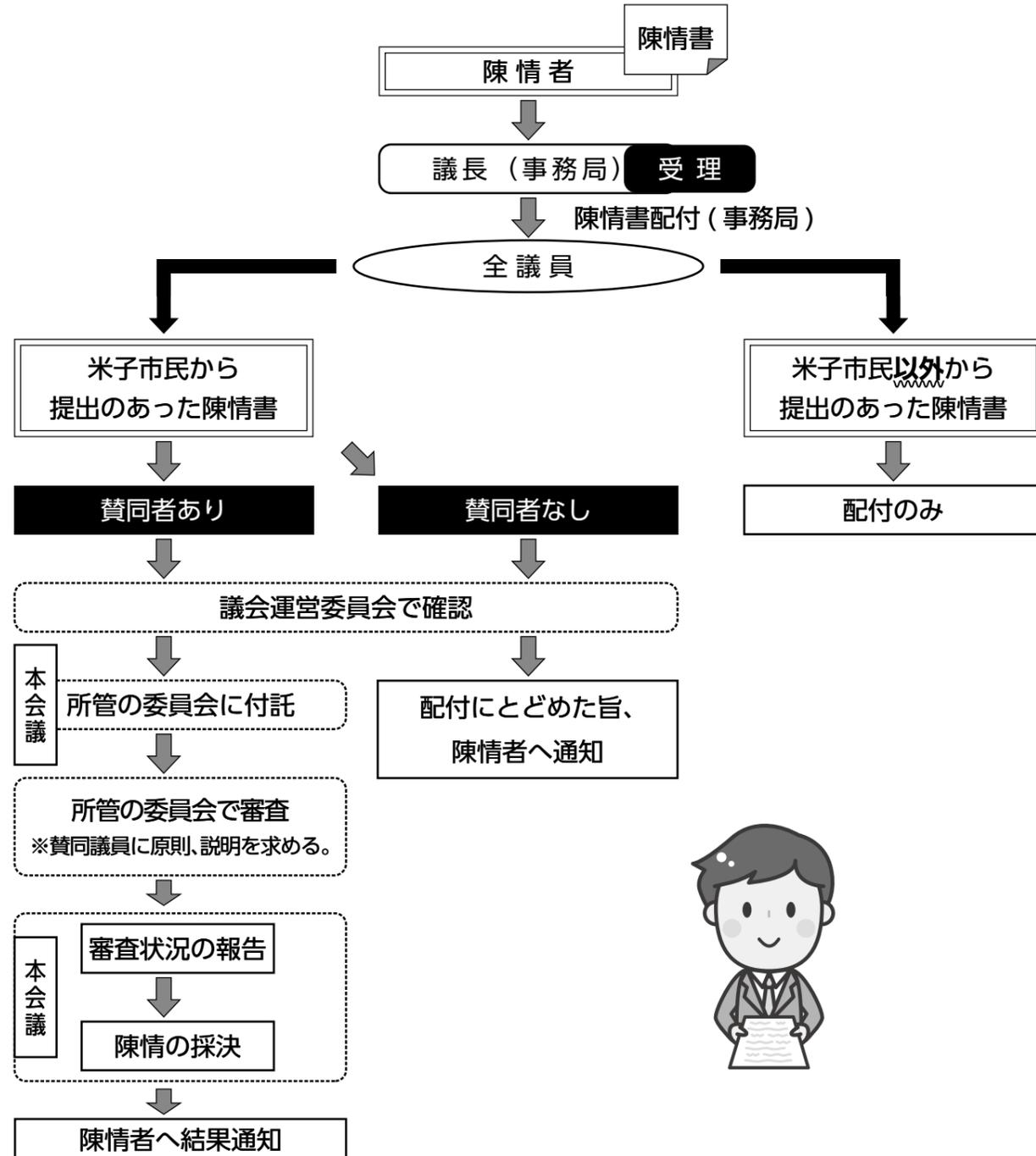
陳情書の取扱いを変更します

市の行政に関する意見や要望があるときは、だれでも請願書、陳情書を市議会に提出することができます。

米子市議会では、これまでの陳情の取扱いを変更して次のとおりとします。提出のあった陳情は受理した後、全議員に配付します。そのうち米子市民から提出のあった陳情かつ賛同のあったものを議題に供することとします。

変更の時期は、令和7年9月定例会から（6月定例会の陳情受付期限※以降に受理したのものから）となります。

（※6月定例会の日程は5月中旬に決定するため、市議会ホームページなどでご確認ください。）



令和7年米子市議会3月定例会提出議案等審議結果一覧表

●陳情の議決結果の理由等③●

陳情第93号	<p><賛成意見> 国土や地域を守るためにも、不利益な地域での家族農業経営を支える政策が必要であり、国民の食料を守るためには、価格補償や所得補償を真剣に考えるべきである。</p> <p><反対意見> ①国産食料の増産には、天候や災害、人件費の高騰、生産者の高齢化などによるデメリットが考えられ、現在の一時的な物価高騰だけを見た考えでの意見書の提出には賛同できない。 ②米を主眼に置いた食料自給率を問うことと、その安定のための国の関与、昭和の食糧管理法の時代に戻すような考え方には賛同できない。 ③食料安全保障を強化するという観点で、食料自給率の向上には賛同できるものの、この課題を陳情に書いてある内容で達成できるかという点必ずしもそうではないと考える。 ④担い手不足からくる大規模な効率的な稼げる農業も、鳥取県内でも新たな取組をされている事業者も生まれてきていることから、その両立を図っていくという道を進まなければならないと感じている。 ⑤食料自給率の重要性は理解できるが、現在の日本の農業が置かれている環境を考えれば、食料自給率の目標と達成するための計画を明記することは現実的ではない。 ⑥学校給食に有機米などの米を取り入れることは少しずつ全国にも広がっているが、和食文化が広がることで自動的に米の市場が広がっていくのではないと思う。</p> <p>採決の結果、不採択となりました。</p>
陳情第94号	<p><賛成意見> 裏金問題の実態解明を求めるとともに、企業団体献金があることによって、様々なゆがみがあるというのは否定できないことから、全面禁止に賛同する。政治家は自らを律していかなければならない。</p> <p><反対意見> ①陳情事項については、国会において現在審議されているところで、国会議員が決める事項であることから、市議会のテーマとしてはそぐわない。 ②個人献金及び企業・団体献金は法律上、認められている権利であり、国民の理解が得られるような制度に改正していただくよう議論が進むことを期待している。 ③政治資金規正法については、自ら作った法律を守ることができるか、ということが一番大事なことであり、第三者機関の設置による監査や責任を会計責任者だけでなく議員本人にも負わせるという法改正の中で取り組んでいけることだと考えている。 ④今回の裏金問題においては、情報公開が不十分であったことが問題であり、献金の廃止ではなく、情報公開による透明性の確保が必要である。</p> <p>採決の結果、不採択となりました。</p>
陳情第95号	<p><賛成意見> ①鳥取県知事、米子市長、境港市長は三者連名で国に対し、再生可能エネルギーの主力電源化を進めるなど原発依存度の低減に向けて対策を講じることを要望したが、このことは国に伝わっているけれども、国はまだ何も対応していない。説明を含めてきちんと対応してほしいと考えるため、議会としてその思いを伝えることは非常に意味があると考えます。 ②福島原発事故から14年経った今でも、2万人以上の人が避難生活を送っており、廃炉作業も進んでいない状況である。絶対安全であると言えない以上、原発に代わる再生可能エネルギーを進めて、原発依存度を減らしていくことが必要であると考えます。</p> <p><反対意見> ①原発依存度の低減を可能にするためには、再生可能エネルギーの中で、特に太陽光発電、風力発電を拡大することになると考えるが、土砂災害等の発生、景観や水質、生態系などの自然環境への影響といった様々な問題も考えられるため、再生可能エネルギーの持続可能で環境への影響を配慮した総合的なエネルギー政策の提示が必要であると考えます。 ②太陽光発電、風力発電においては、エネルギーを発生する構造上、主力電源化を進めるのは非常にハードルが高いと考えるため、原発を安全に稼働するとともに、原発に伴う課題解決もやっていく必要があると考えます。エネルギー政策については国において責任を持って議論をしていただきたい。 ③電力需要が高まっている現代において、我が国におけるエネルギー政策は、火力、原子力、水力、太陽光、風力などのエネルギーがベストミックスでなければならない。経済産業省は次世代革新炉の運転を目指しているが、早くとも2040年頃になるようであるため、安定した電力供給を維持していくには、現段階において既存の原発を、安全性の確保を大前提に稼働させながら、地方議会も新たな次世代エネルギー開発に注目していかなければならないと考える。したがって、現段階において原発依存度の低減を求める意見書を提出することについては賛同できない。 ④エネルギーの需要とそれに対する供給体制を考えると、再生可能エネルギーの開発のスピードがまだまだその需要に追いついていないと思っている。第7次エネルギー基本計画では確かに「原発依存度の低減」の表現は消えているが、同時に再生可能エネルギーを主力電源として最大限導入するという方針も出ているので、その現状を踏まえながら今後進めることで、結果的に全体の電源構成比において原子力エネルギーが占める割合が低減していくというところを目指すのが現実的なものだと考える。 ⑤エネルギーの需要供給については、様々な角度から公益を考え、国において議論されるものと考えており、原発のリスクから原発依存度の低減という考え方には同じ考えを持っているが、このことが10月25日の三者連名での要望事項の中にあるという理由によって、議会からも意見書を提出することには同意することができない。</p> <p>採決の結果、不採択となりました。</p>



中学校でお話ししました

令和7年2月26日に米子市立尚徳中学校2年生の総合的な学習の時間にお呼びいただき、議員が米子市の課題や取組についてお話ししました。



中学生の感想

- ・市議会議員の大変さがわかりました。
 - ・米子市にはいろんな課題があることがわかった。学校のエアコンの設置や外灯の設置をしてもらってありがたいと思った。
 - ・自分のふるさとを発展させるためにどうすればいいのかわかなくて、少しでも考えてみようと思いました。
 - ・ちゃんと考えてみたら米子にしかないいい所なども見つけたから、これからも大切にしていきたい。
 - ・今ある継承すべきものを残しつつ、より快適な町にするの難しさがわかりました。
 - ・米子の現状はいいところもあるけど、あまりよくないところのほうが多いのでたくさんアイデアを出してもっと魅力のある米子にしていきたいと考えました。
 - ・いろんな案を出してもすべて実現できるわけではなく一つ一つたくさん考えなければいけないことがわかった。
 - ・議員の方々の話を聞いて米子のためにいろいろな考えを出してくれて、それを実行してくれている方々なんだなとわかった。大変なこととかもわかったので、しっかり自分も地域に貢献していきたいです。
 - ・新たな施設をつくって、それで問題が起きることもあるから、実現できないものが多いとわかりました。米子は海も山もある全国でもめずらしい場所だと知ってびっくりしました。
 - ・提案してもその提案が通らないこともあるけどでも諦めずに提案するところが印象に残りました。
 - ・米子についてふだんそんなに考えないけど、米子の特産を利用して米子をPRしていると知り、私も米子にできることはないか考えて小さなことでも活動してみようと思いました。
 - ・何かを新しくつくりだすこととかよりも今ある自然や物を利用して観光資源などをつくりだすことが大切なことだとわかりました。
 - ・議会のことはほとんど知らなかったけれど今日話を聞いて知ることができました。
 - ・都会はいい！すごい！と思いがちだけど、ふだん気づかずに見ている景色とかが、とても特別なことなんだと感じることができました。
- (主な意見を掲載させていただきました。)

◎委員長

吉岡 錦 徳 田 門 稲 大
岡 織 田 村 脇 田 下

○副委員長

古 陽 博 謙 一 哲 史
都 子 文 介 男 清 治 朗

広報広聴委員会

お問い合わせ先

米子市議会事務局 〒683-8686 米子市加茂町一丁目1番地

TEL:(0859)32-0302 FAX:(0859)35-6464

メール:gikai@city.yonago.lg.jp

米子市議会

検索

URL:https://www.city.yonago.lg.jp/gikai/

ご意見等ありましたら、電話・FAX・メール等でお寄せください。

